

都市再生整備計画 事後評価シート

豊田都心地区

令和6年2月

愛知県豊田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	豊田市	地区名	豊田都心地区			面積	500ha				
交付期間	平成30年～令和4年	事後評価実施時期	令和5年	交付対象事業費	3,053.1(百万円)	国費率	0.5						
1)事業の実施状況			事業名										
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	新豊田駅東口まちなか空間整備、豊田市駅西口交通拠点機能強化整備、豊田市駅西口オープンデッキ賑わい創出事業、都心地区新設サイン整備										
		提案事業	公共空間利用促進事業、(都)豊田市停車場線歩行者専用化事業										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業	高質空間形成施設(市道西町若宮線)			事業実施を見合わせたため削除		影響なし					
		提案事業	地域創造支援事業(都心地区防犯カメラ設置事業、バスルート改変に伴うバス停整備事業)			事業実施を見合わせたため削除		影響なし					
		新たに追加した事業	基幹事業	公園(中央公園第二期整備)、地域生活基盤施設(文化ゾーンエリア賑わい検討事業) 誘導施設(豊田市博物館整備)			(公園) 中心市街地や矢作川と連携し回遊性を高め、まちと水辺が一体となった空間づくりを実施し、都心全体の賑わいや魅力発信を可能とするため。 (地域生活基盤) 文化ゾーンの魅力を高め、豊田市駅周辺の再整備と合わせて都心全体のにぎわい創出・回遊促進を推進するため。 (誘導施設) 本市の自然・歴史・文化を物語る資料群を集約し、効果的・効果的に継続可能な整備を行い、文化ゾーンの魅力を高めるため。		公園:影響あり				
提案事業	事業活用調査(文化ゾーンエリア道路活用検討事業、豊田市駅東口デッキ賑わい創出事業)			(事業活用調査) 文化ゾーンの魅力を高め、豊田市駅周辺の再整備と合わせて都心全体のにぎわい創出・回遊促進を推進するため。駅・店舗・駐車場が歩行者空間で一体的に繋がり、回遊しやすい空間を創出するため。		影響なし							
交付期間の変更	当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	歩行者数	人/日	86,374	H26	104,182	R4		93,074	×	ありなし●	豊田市駅を中心として新たな市街地形成の基盤を整備することで、昼夜間人口の拡大及び中心市街地の活性化を図ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、効果の発現が限定的となった。	—
	指標2	都心における満足度	%	25.6	H28	28.4	R4		30.0	○	ありなし●	新豊田駅前広場の整備の実施等により都心の賑わいを感じる市民が増加した。	—
	指標3	豊田市駅を含むバス系統の利用数	人/年	359,085	H28	383,966	R4		430,986	○	ありなし●	まちなかでのイベント実施等の増加に伴い、バス利用者が増加した。	—
	指標4	商業施設の来館者数	万人/年	593	H28	710	R4		527	×	ありなし●	豊田市駅西口の商業施設が全館グランドオープンしたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、効果の発現が限定的となった。	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標5	公園や緑地が身近にある	ポイント	4.56	R1	4.58	R4		4.50	×	ありなし●	コロナ禍の影響を受け、屋内で過ごすことが増え、公園や緑地に関する市民意識が若干であるが低下した。	—
	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	その他の数値指標3												
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組	道路占用特例、都市利便増進協定の活用				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 次期計画においても、継続して実施していく				
	持続的なまちづくり体制の構築	豊田の都心を育てる会の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 計画期間終了後も、継続して実施していく。				

様式2-2 地区の概要

豊田都心地区(愛知県豊田市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
・公共交通の利用と連携した中心市街地のにぎわいの再生 ・歴史的資源を活用した魅力の向上 ・既成市街地外縁部における生活機能の確保 ・憩いと交流の拠点の創出		歩行者数	単位: 人/日	86,374	H26	104,182	R4	93,074	R4
		都心における満足度	単位: %	25.6	H28	28.4	R4	30.0	R4
		豊田市駅を含むバス系統の利用数	単位: 人/年	359,085	H28	383,966	R4	430,986	R4
		商業施設の来館者数	単位: 万人/年	593	H28	710	R4	527	R4
		公園や緑地が身近にある	単位: ポイント	4.56	R1	4.58	R4	4.50	R4

The map illustrates the spatial distribution of various urban planning projects in Toyota City. Key areas highlighted include the Toyota Station East Exit Plaza, the Toyota Museum, and the Central Park. The map uses color coding to distinguish between different types of projects: red for 'Urban Revitalization Projects', green for 'Residential Revitalization Projects', yellow for 'Urban Revitalization Projects', blue for 'Urban Revitalization Projects', and orange for 'Urban Revitalization Projects'. The map also shows the 'Toyota City Station East Exit Plaza Improvement' and 'Toyota City Station East Exit Plaza Improvement'.

まちの課題の変化	今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
・新豊田駅東口の広場整備により、日常的に人々が集う公共空間を創出し、賑わいの創出が図られた。 ・博物館整備により、本市の自然・歴史・文化を物語る資料群を集約し、文化ゾーンのへの愛着を高めた。 ・都心における拠点が滞在時間の増大に寄与することが確認され、将来の都心整備の指針となった。	・商業機能等を充実し、都心のにぎわいづくりと昼間・夜間人口の増大を目指すとともに、都心における滞在時間の増大に向けた人が憩える拠点づくりの実施。 ・都心への流入ルートの適正誘導策等を図るとともに、交通機能の集約化や駐車場及び駐輪場の適正利用等により、市民や来街者が安全で快適に都心内を回遊できる拠点づくり。 ・多くの市民や来街者が集積する鉄道駅周辺について、きめ細やかな情報提供サービスによる都心内の回遊促進や乗り継ぎの円滑化を図るとともに、郊外から都心への適切な案内誘導を可能とする拠点づくり。 ・豊田スタジアムで開催されるサッカーやラグビー等には多くの集客が見込まれるが、それらが必ずしも駅周辺へ賑わいの波及効果を生み出す状態に至っていないため、まちと一体となった日常定常な賑わい空間の拠点づくり。